

第1編 ゲノムから見る生命科学

1.2

生物システムの設計： システム生物学から合成生物学へ

荒木通啓 (神戸大学 自然科学系先端融合研究環 特命准教授)

人工物の設計にCAD (Computer-Aided Design) が利用されるように、生物システムの設計にも計算科学の果たす役割が益々大きくなってきている。ここでは、生物システムの中でも遺伝子回路と代謝ネットワークの設計を中心に、計算科学的アプローチの観点から、システム生物学から合成生物学への展開について紹介する。

<今後の予定>

2015/10/28 1.3 遺伝子ネットワーク解析:細胞の状態変化の過程を探る
(松田秀雄 大阪大学大学院 情報科学研究科 教授)

2015/11/4 1.4 到来する大規模生命情報の解析に備えて
(土井 淳 株式会社セルイノベーター 取締役 研究開発部 部長)

開催日時：2015年10月21日(水) 17:00 - 18:30

【申し込み方法】

参加費は無料です。受講は、インターネット受講か神戸大学会場受講かを選択できます。参加する講義は1回からでも自由に選択可能です。

神戸大学計算科学教育センターのホームページから開催日前日までにお申し込みください。詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.eccse.kobe-u.ac.jp/distance_learning/

お申込み先 http://www.eccse.kobe-u.ac.jp/entry/distance_learning/?id=674

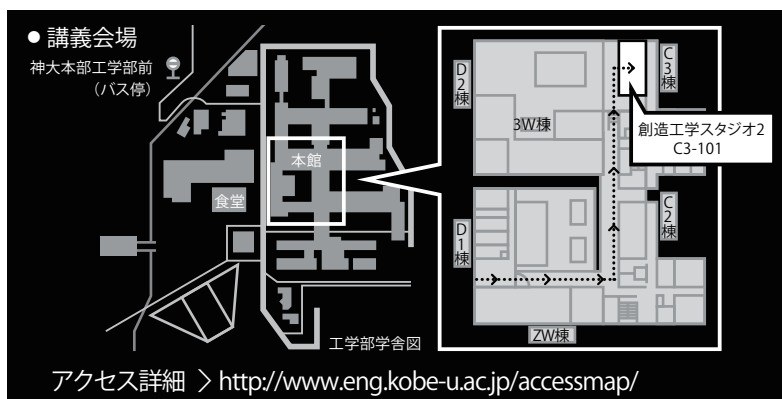
★神戸大学会場受講の場合

申し込みなしでも当日参加可能です。直接会場にお越しください。

会場では講師に直接質問が可能です。

【会場】

神戸大学工学部学舎1階 C3-101 (創造工学スタジオ2)



<講義スケジュール>

第1編 ゲノムから見る生命科学

- 1.1 ヒトの病気はヒトの研究で～生命情報の統合によるヒト生物学と先制医療 (2015/10/14)
- 1.2 生物システムの設計：システム生物学から合成生物学へ (2015/10/21)
- 1.3 遺伝子ネットワーク解析：細胞の状態変化の過程を探る (2015/10/28)
- 1.4 到来する大規模生命情報の解析に備えて (2015/11/4)

第2編 タンパク質からみる生命科学

- 2.1 計算生命科学のための量子化学基礎 (2015/11/11)
- 2.2 タンパク質の量子化学計算 (2015/11/18)
- 2.3 分子動力学計算によるタンパク質の機能解析 (2015/11/25)
- 2.4 分子動力学計算を活用したインシリコ創薬 (2015/12/2)
- 2.5 QM/MM シミュレーションによるタンパク質機能解析 (2015/12/9)

第3編 医療・創薬における計算生命科学

- 3.1 製薬企業におけるデータ駆動型の研究開発 (2015/12/16)
- 3.2 フラグメント分子軌道法によるタンパク質-リガンド相互作用の高精度解析と創薬への応用 (2016/1/13)
- 3.3 創薬と医療のためのシミュレーション科学とビッグデータ科学 (2016/1/20)
- 3.4 創薬における計算生命科学：インフォーマティクスとシミュレーションを融合したインシリコスクリーニング (2016/1/27)
- 3.5 大規模計測と大規模計算の時代の脳科学 (2016/2/3)

詳しくはホームページでご確認ください。

主催：神戸大学計算科学教育センター

共催：神戸大学連携創造本部、理化学研究所 HPCI 計算生命科学推進プログラム、産業技術総合研究所 HPCI 戦略プログラム分野1 人材養成プログラム、理化学研究所 計算科学研究機構

後援：兵庫県、神戸市、公益財団法人都市活力研究所、NPO 法人バイオグリッドセンター関西、公益財団法人計算科学振興財団